



検索の妙手はどこにあるか。まずはオンライン統合事典サイト、特に、ウィキペディアを徹底的に利用することである。そのためには、どうしたらよいか。今回は、ウィキペディアを利用して、他の人が気づかないプラス α の情報を入手する教科書的な方法について、紹介しよう。

第三話 ウィキペディアを調べ尽くす

調べたい用語の名称が分かっている場合、最初に調べに行くウェブ・サイトのナンバーワンは、無料の百科事典のウィキペディアであろう。実際、検索エンジンのグーグルでキーワード検索すると、ウィキペディアの項目が最初に表示される場合が多い。

これ程重宝されるのには訳がある。人気タレントやテレビ・ドラマの話題から、世界の重大事件や歴史上の重要なイベントまで、3面記事的な話題から最新のニュースまで、非常に多方面の情報が網羅されているからである。

それだけでない。最新の話から歴史的な事件まで幅広く調べられる。最新の情報も随時更新されている。マニアックな記述も多い。たとえば、アニメ「機動戦士ガンダム」、スポーツ選手「王貞治」、歴史上の事件「元禄赤穂事件」、政治家「菅直人」などなど。

他方、問題点も少なくない。新聞や雑誌などでしばしば使用される用語でも、記載されていない項目もある。専門分野では、記載されていても内容が、驚くほど貧弱なものが少なくない。また、書き掛け中の項目や記載募集中の項目も多い。

たとえば、筆者の専門分野である情報システム関係は、極めて貧弱である。「システム障害」「システムトラブル」の項目は欠如しているし、「戦略情報システム」、「経営情報システム」、「オフィス・オートメーション」などの項目は、貧弱すぎる(平成22年9月20現在)。

さて、学生の教育を指導する大学教師の立場からは、ウィキペディアの最大の問題点は、学生レポートである。学生の多くは、ウィキペディアの同じ記述を、そのままコピペ(コピー&ペースト:丸写し)してレポートを作成してくる。

これは、他人のレポートを丸写したのと、何ら変わり無い。課題を提出する教師からすれば、誰もが同じ内容しか調べてこないのも、他人と差がつかない。賢い教師は、それを承知で課題を提出する。たとえば、ウィキペディアに記載されていない項目を課題とするのである。

コピペを多用するのは、学生に限ったことではない。新聞記者やリサーチャーも例外ではない。彼らはコピペの専門家であり、気付かれないように工夫する。それでも、時々、無断引用や盗作事件が発覚する。時間に追われ、ついウっかりするのであろう。

価値ある情報とは、他人が持っていない情報である。誰もが簡単に入手できる情報の価値は低い。「情報の本質」がここにある。ウィキペディアの問題点も、ここにある。誰もが調べに来て、

簡単に調べられるウィキペディアは、情報の差別化が難しいのである。

さて、本題に入ろう。この重宝するウィキペディアを利用して、他人と一味異なるプラスαの情報を簡単に入手するには、どうしたらよいか。今回は、教科書的な方法を紹介しよう。簡単といっても、他人よりは多少余分な努力が求められることは言うまでもない。

まず、項目内に用意されている「文章や用語に張られているリンク」、「関連項目」、「外部リンク」、「参考文献」、「カテゴリー」などをチェックすることである。クリックすれば済むだけの話であるが、学生のレポートでは利用されている気配はない。うまく利用すれば、付加価値のついた新しい情報が次々と入手できるのに、もったいない話である。

どんな情報が入手できるか。まず、ウィキペディアがその記述に利用した「情報源」が入手できる。企業名、書籍名、著者名、新聞・雑誌での元記事タイトルなどの「情報源」が、簡単に入手できる。この情報源を、最初にチェックすることは、リサーチャーや書き手のイロハである。

にもかかわらず、少しでも面倒なことを嫌がる御時勢のためか、時間に追われる仕事のためか、リサーチャーでも「情報源」をチェックしない者が、少なくない。

どんな情報が入手できるか。ウィキペディアの項目「ケータイ小説」を例にとろう。項目の記述を見ていくと、主なケータイ小説賞、主なケータイ小説家と小説名のリストがあり、ウィキペディアの他の項目にリンクしている。参考文献リストには、種本となった文献が掲載されている。

次に、関連項目欄をチェックする。そうすると、「オンライン小説」、「オンライン作家」、「小説投稿サイト」、「魔法のiらんど文庫」、「フォレストノベル」、「ポケクリ!ケータイ小説放送局」他の項目が、ウィキペディアの項目として用意されていることがわかる。

次に、項目の一番下に記述されている「カテゴリー」欄をチェックする。この欄に気づかない者が多い。この「カテゴリー」欄は、関連する用語を調べるのに、非常に大切な欄である。

ここには、「ケータイ小説」と「平成時代の文化」というカテゴリーがあることがわかる。それぞれをクリックすると、「Category:ケータイ小説」、「Category:平成時代の文化」というカテゴリーのページに跳ぶ。

「Category:平成時代の文化」には、ケータイ小説と同時代に話題になった項目、「秋葉系」、「渋谷系」、「アムラー」、「ギャル男」、「コギャル」、「茶髪」などの項目が、ウィキペディアの項目として記載されていることがわかる。

最後に、ウィキペディアのサイト内検索をする方法である。紙の書物でいえば、書物の最後に掲載されている索引を利用することである。項目内で「XXX」に言及している項目すべてを、検索してくれる。そうすると、上記の方法では見つけられなかった項目を、発見できる。

「システム障害」を例にとってみよう。ウィキペディアには、現在、「システム障害」という項目はない。しかし、グーグルの検索窓口で、{システム障害 site:ja.wikipedia.org}と入力しサイト内検索を試みる。すると、ウィキペディアのサイト内(ja.wikipedia.org)にある「システム障害」という用語を使用し説明している全項目(135件)を、検索してくれる。

たとえば、「みずほ銀行の合併処理」、「楽天証券」、「フォールトトレラントシステム」「データベース管理システム」など、システム障害を起こした事例や関連項目すべてが検索される。

以上、ウィキペディアの事典に記載されている全内容をチェックする教科書的な方法を紹介してきた。情報検索では、他人がチェックしていない項目や内容を見つけ、他人とは異なる情報を入手することの重要性を理解してもらえれば幸いである。

今回は、ウィキペディアを利用して、他人がチェックしていない項目や内容を調べるノウハウを紹介しよう。これは、教科書的な方法ではなく、個人的なノウハウの紹介である。調べる具体的な項目名が決まっていない場合の検索法も含めて、紹介することにしたい。